

2019 年度事業計画書

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1、事業活動の方針

設立当初から、障害があっても、治癒できない病を得たとしても、認知症になっても、その人らしい人生を送ることのできる、**ゼロ歳から百歳まで**安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきました。ますます高齢長寿社会が加速する中、ホームホスピス宮崎の果たす役割も大きくなっています。

平成 26 年 4 月、橘通り東 3 丁目の実家跡地を宮崎のために活かすことはできないだろうかとの本部氏（かあさんの家のご遺族）の提案を受けて、この 3 年間をかけて検討を進めてまいりました。訪問看護ステーションぱりおんを中心に、多職種の方々に集まっていただき、月 1 回のペースで、色々な提案を話し合い、具体的な方向性を模索してきました。医療的ケア児の在宅療養の環境がまだ宮崎では整っておらず、宮崎大学医学部総合医学講座にもご相談し、ご支援を得て、富山、福井、石川の北陸 3 県の先進地視察に同行し、多くの刺激を受けました。歩みはゆっくりでしたが、メンバーの中にしっかりと意義や目標を共有することができ、そして本年はいよいよその実現に向かって実施計画を立てていくこととなります。

また、1998 年より継続されているボランティア活動、ホスピスケアの啓発と、「ホームホスピス®」事業のケアの質向上と、新たな人材を養成していく事業を推進していきます。昨年第 1 回を実施した「これからライフデザイン塾」は、少人数のグループでじっくりと講座を受けるスタイルでしたが、いい顔で暮らし「生き上手」に、納得の「死に上手」になれるように、今年も継続して開催します。

暮らしの保健室は、いろいろな方々が集う居場所です。「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「セルフお灸教室」「ゆるり短歌会」など取り組みが定着し、本年度も継続していきます。また、宮崎市「在宅療養支援相談事業」を昨年に引き続き実施します。がんや神経難病などこれ以上の治療はなく、これからの不安を抱えている人の様々な悩みに対してゆっくり話しができるような時間と空間を提供します。

かあさんの家事業は、現在 3 軒の運営となっています。住人の方々は、経管栄養や CV ポートなどの医療依存度の高い方が増えていますが、かあさんの家が持つ空間の力、陽光や新鮮な空気など、生活を整えるケアが、生きる意欲を引き出すことを実感しています。本年度より訪問看護ステーションぱりおんの協力を得て担当看護体制をとり、看護と介護（ケア）が共にケアの理念を共有し実践し、住人の個別ケアを実践します。

また、訪問看護ステーションぱりおんは、初めて新卒のスタッフを採用します。指導育成も含めて、重度の障害を持った小児の在宅療養や、重度の障害をもった高齢者を含めたケアを実現するための一歩を踏み出します。

事務局体制の強化を図り、ファンドレイジングを活かす事業に取り組みます。組織基盤強化策として、会員管理業務、経理業務及び労務管理など就労環境の整備を行います。

2、事業の実施に関する事項（今年度は次のような項目を重点的に実施します。）

目的	事業名	事業内容	
① ボランティア活動（在宅ホスピス支援センター事業）	大切な人を亡くした方の集い	毎月第4月曜日午前10時半～ 宮崎教会	
	患者らいぶらり	毎月第3木曜日 午後2時から4時 古賀総合病院内科病棟・産婦人科病棟 闘病記や絵本などの貸し出し傾聴	
	宮崎聞き書き隊	・依頼のあった方を聞き書きする ・聞き書き例会の開催（第二日曜日） ・細見クリニック回想療法への参加	
	園芸ボランティア	毎月隔週水曜日 午前10時～ ・緩和ケア病棟の庭園の花の管理等	
	ゆるりサロンボランティア ふらっとカフェボランティア かあさんの家ボランティア	・ゆるりサロンの運営のサポート ・がん患者さんやご家族の傾聴とカフェの運営 ・ご家族の庭の入れ ・看護学生	
② 教育プログラム	がん患者サポート事業	・ワールドカフェ形式のセッション 「患者の意思決定支援を支える為に」（仮題）	事業委託 宮崎県
	ホスピスケア市民講座 「在宅医療という希望」 実行委員会設置	・映画上映会と講演 ・映画「ピア～まちをつなぐもの～」 期日：2020年2月29日（土） 会場：宮崎市民文化ホール	在宅療養 宮崎市
	これからライフデザイン塾 ～最後まで豊かな 人生を過ごすために～	・連続講座（9月～12月 計5講座） 会場：暮らしの保健室 ① 相続・終い方（金子聡・高橋好香） ② いのちの授業（小澤竹俊） ③ 聞き書き勉強会（井上直敬） ④ 朗読から（藺田潤子） ⑤ 地域とホームホスピスの役割（市原美穂）	

目的	事業名	事業内容	
③ 地域に開かれた活動（エンドオブライフケア支援事業）	ふらっとカフェ （がんサロン事業委託）	<ul style="list-style-type: none"> ・がん拠点病院（県立宮崎病院） 毎月第2水曜日開催 サポーターは、研修を修了した方5名 アロマボランティア3名 	事業委託 宮崎県
	暮らしの保健室 <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり ・暮らしの保健室だより発行 ・えがおキッチン ・セルフお灸教室 ・ゆるり短歌会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニサロン（年2回） ・年12回 ・年3回（不定期） ・年3回（不定期） ・隔月第2金曜日10時から12時 短歌集の作成 	
	宮崎市在宅療養支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・患者と家族のためのよろず相談室 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援など、 ・随時病気や介護の相談を受ける。 	宮崎市
	ゆるりサロン <ul style="list-style-type: none"> ・パッチワーク教室、 ・健康体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者、要支援でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は一人暮らしで誰かと話をするのもなく、食べることもつい億劫になる、そんな方が共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間の居場所となっている。 ・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。 	
④ ごちゃませプロジェクト	「街ん中ごちゃませプロジェクト」 【予定事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・小児、障がい者短期入所 ・日中一時支援・児童発達支援 ・移送サービス・保険外泊まり 	<ul style="list-style-type: none"> ・橘通東の本部邸の200坪の土地を借用して、療養通所LeiLei（仮称）及び、県内初小児在宅の訪問診療、近隣在宅医の不在時バックアップ機能を持つ、成人から小児までの在宅療養診療所「街なかクリニック」の開設準備を計画している。 ・医療的ケア児の在宅療養の環境がまだまだ宮崎では整っているとは言えない。医療的ケア児や医療的依存度の高い重度介護者が在宅で暮らせる為の仕組みを作ることができるのは、療養通所であり、実現に向けて、プロジェクトを作って取り組んでいく。 ・また、現地がデパートなどのある商業地域でありながら静かな環境でもあるため、街なかの特徴を生かした、自由に誰でもが触れ合う、カフェや障害をもつ人および親たちの働く場所になるのではと考えている。そのために多様な人が多様な利用をして、街の真ん中で過ごすことができる仕組みができないかを検討する。 	

目的	事業名	事業内容	
⑤ かあさんの家事業	かあさんの家の運営 かあさんの家・曾師 かあさんの家・霧島 かあさんの家・月見ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。 ・家族会の充実と交流会 ・運営の安定を図る ・介護度の平均が要介護4～5の方が多くを占め、職員のケア水準の向上が必要とされている。同時にスタッフの勤務の負担も大きくなっていて、スタッフ増員が最大の課題である。募集の工夫を続けていく。 ・訪看ぱりおんのサテライト機能の準備 (かあさんの家担当の看護体制を組む) 	
	訪問介護ステーション ぱりおん	【内部研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。 ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策 ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ 【外部研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームホスピス実践者育成塾の受講 各論：7月8.9.10日（三重県伊勢） ・全国ホームホスピス合同研修会 11月30日、12月1日、広島国際会議場 	
	訪問看護ステーション ぱりおん	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害がある小児の在宅療養を支える。 ・療養通所介護の開設へ向けての準備 ・看護師新卒の人材育成事業 ・看護学生の実習受け入れ ・0歳から100歳までの医療充実のためのまちづくりを目指して、ネットワークをつくる。 ・宮崎小児在宅療養を支える会の運営 	
④ 医療・介護保険事業	地域包括ケアシステムの構築 のための取り組み かあさんの家の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携 ⇒かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携 ・介護サービス事業所との連携 ⇒訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携 	

目的	事業名	事業内容	
⑤ ホームホスピス支援事業	日本財団 在宅ホスピスプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ホームホスピス実践リーダー養成プログラム ホームホスピスリーダー研修生の受け入れ実施機関研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。 1名から2名の受け入れ 	
	ホームホスピス 推進センターの事業	<ul style="list-style-type: none"> 医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れ 実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。 	
	一般社団法人 全国ホームホスピス協会 事務局の機能	<ul style="list-style-type: none"> 第3回ホームホスピス実践者育成塾の開催 <ul style="list-style-type: none"> 総論 6/15, 6/16 明治大学中野キャンパス 各論 7/8, 7/9, 7/10 三重県伊勢市 第8回全国合同研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 期日：2019年 11月30日、12月1日、 会場：広島国際会議場 テーマ：「いのち」を生ききる 	事務局の委託
⑥ 研究・啓発・情報・広報	認定NPO 寄付文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 賛助会員を増やす HPで、賛助会員や寄付の呼びかけ ファンドレイジングの活用 	
	「かあさんの家」見学及び 研修の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 見学・現場実習等受け入れ 研修医の受け入れ（平塚共済病院研修医2年目） 他施設職員現場研修の受け入れ 	
	ホームページの充実 ニュースレターの発行	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運営 全国のホームホスピスとのリンク 年2回発行 	
	総務部門 事務局業務の増加に伴い 事務局体制の強化を図る 理事会のもとに、「運営 委員会」を置く。 職員体制：事務局長1名 経理担当事務1名 総務担当事務2名	<ol style="list-style-type: none"> 会議の業務 <ul style="list-style-type: none"> 定時総会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 期日：5月25日（土）午後1時から4時 会場：暮らしの保健室 理事会の開催（年3回予定） 運営委員会の開催 ・事務局会議の開催 会員管理業務 経理業務 労務管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 就業規則を見直し、適切な労務管理、 多様な雇用体制の検討 総務関連業務・・・届出等 	